

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 34週 > 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去5年間の同時期の平均と比較して未だかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2003年の報告数は過去4年間と比べて比較的少なく推移しており、第34週には大幅に増加したものの、累積報告数は昨年よりは少ない



病原体情報
P.5-6

患者から分離・検出された病原体報告 - ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス / 流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス



速報
P.7-10

< 通知 > 平成15年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について / 平成15年度(2003/04シーズン)インフルエンザワクチン株の選定経過



海外感染症情報
P.11-12

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ / リベリアでのコレラ流行 - 更新 / アフガニスタンでのジフテリア流行



感染症の話
P.13

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
P.14



グラフ総覧(34週)
P.15-21



34週のデータ
P.22-30



発生動向総覧

第34週コメント 8月28日集計分

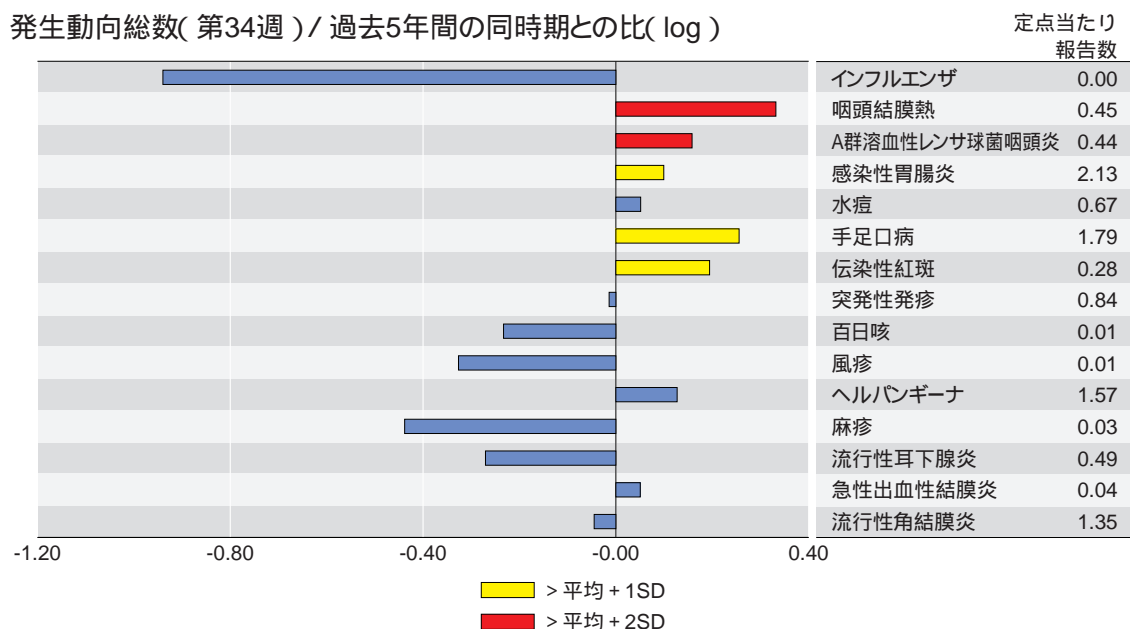
全数報告の感染症

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：コレラ 1例(推定感染地域：インド/ネパール1例)
細菌性赤痢 16例(推定感染地域：国内5例、フィリピン3例、インド3例、ミャンマー2例、タイ1例、タヒチ1例、不明1例)
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 149例(うち有症者88例)
報告の多い都道府県：熊本県32例、福岡県28例
血清型・毒素型：O157 VT1・VT2(41例)、O157 VT2(25例)、O26 VT1(20例)、O103VT1(11例)、その他(52例)
年齢：10歳未満(71例)、10代(25例)、20代(23例)、30代(10例)、40代(8例)、50代(5例)、60代(3例)、70歳以上(4例)
- 4類感染症：アメーバ赤痢 2例(推定感染地域：ともに国内)
オウム病 1例(推定感染源：インコ)
後天性免疫不全症候群 8例(AIDS 2例、無症候6例) 男性/女性：4例/4例
推定感染経路：性的接触6例 異性間4例、同性間2例、不明2例
推定感染地域：国内5例、タイ2例、不明1例
ジアルジア症 1例(推定感染地域：インド/ネパール)
髄膜炎菌性髄膜炎 1例(推定感染地域：国内)
日本紅斑熱 1例(鹿児島県)
梅毒 1例(早期顕症II期)
破傷風 2例(28歳、71歳)
マラリア 3例(いずれも三日熱) 推定感染地域：タイ2例、インドネシア1例)
(補)他に細菌性赤痢 1例の報告があったが、削除予定。

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。

発生動向総数(第34週) / 過去5年間の同時期との比(log)

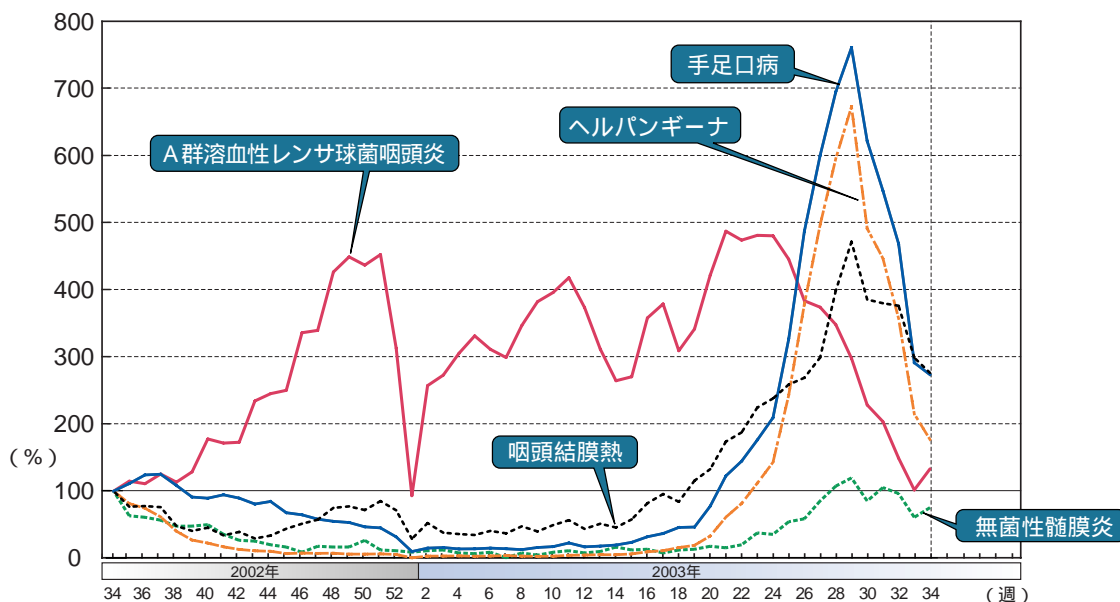


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数(0.45)は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去10年間の当該週と比較して第16週以降最高の値となっている。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較しても未だかなり多く、都道府県別では大分県(1.7)、長野県(1.5)、滋賀県(1.3)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週から10週間連続して減少していたが、今週は増加した。過去10年間の当該週と比較して第27週以降最高の値で推移しており、過去5年間の同時期の平均と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(1.6)、鳥取県(1.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別では新潟県(5.1)、青森県(4.7)、山口県(4.7)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多く、都道府県別では、北海道(0.9)、宮城県(0.8)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けており、都道府県別では愛媛県(4.5)、新潟県(3.7)、宮崎県(3.7)が多い。

基幹定点報告疾患: 無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は増加して0.14で、都道府県別では鳥取県(1.2)、福井県(0.7)、大阪府(0.7)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加して0.22である。本年は過去3~4年間の報告数に比し高く推移してきたが、第31週以降は昨年、一昨年と大差のない値となっている。都道府県別では山形県(1.1)、和歌山県(0.8)、山口県(0.8)が多い。

最近の主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第34週)



2002年第34週における各疾患の定点当たり報告数を100%として、各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

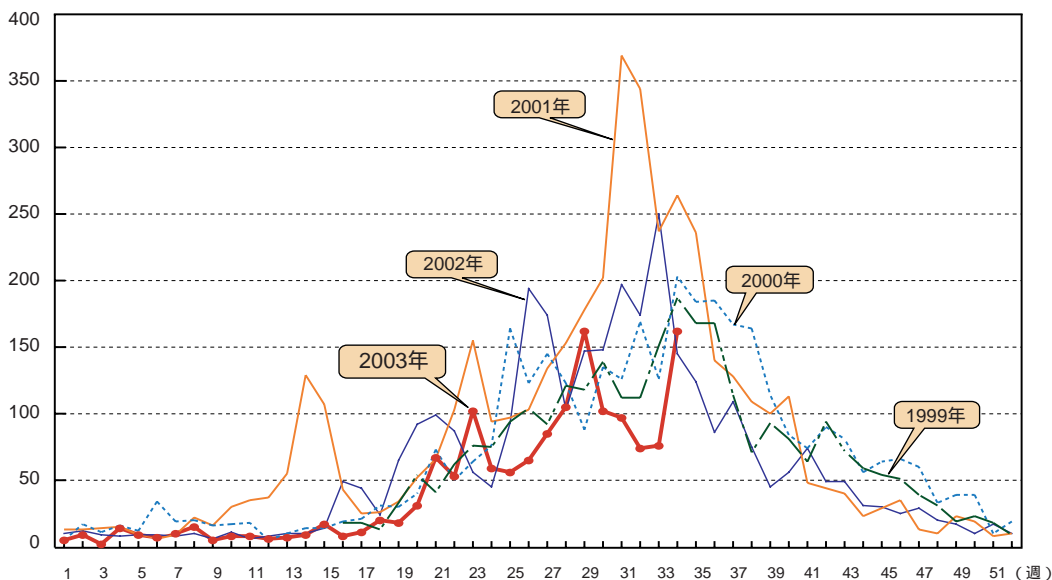
2003年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、過去4年間と比べて比較的少なく推移してきた(図)。特に第31～33週は通常報告数が多い時期であるが、本年の報告数は100例に満たず、少なかった。しかしながら、第34週には149例と報告数は大幅に増加した。2003年の第34週までの累積報告数は1,483例(昨年同時期は2,253例)であり、昨年よりは少ない。

第34週の報告149例のうち(昨年同時期は137例)、性別では男性75例、女性74例であった。有症者数は88例であり、報告者全体の59%であった。都道府県別では多い順に熊本県32例、福岡県28例、大阪府および兵庫県各7例などであった。5歳毎(0歳、1～4歳、70歳以上は別扱い)の年齢階級別にみると、1～4歳48例、5～9歳22例、15～19歳14例と1～4歳までの報告数が多く、保育園などの施設での集団発生も報告されている。

血清型についてはO157が81例、O26が25例、O103が11例であり、O157の報告が多くを占めたが、熊本県を中心にO103の報告もあった。血清型とベロ毒素型の組み合わせでは多い順に、O157 VT1・VT2 41例、O157 VT2 25例、O26 VT1 20例、などとなっている。

今年に入って死亡例(届け出時点)は2例が報告されている。第34週には、溶血性尿毒症候群(HUS)の事例が3例報告されている(1歳男児、3歳男児、11歳女児)。

図 . 腸管出血性大腸菌感染症の週別報告数 (1999年4月～現在まで)





病原体情報

* 各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。グラフはIASRホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

(2003年8月29日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は396件で、うちO157が295件、O26が74件、その他の血清型が27件報告されている。最近ではO157が第32週に堺市1(VT2)、O26が第33週に富山県2(いずれもVT1)で、いずれも散発または家族内発生事例からの検出報告である。

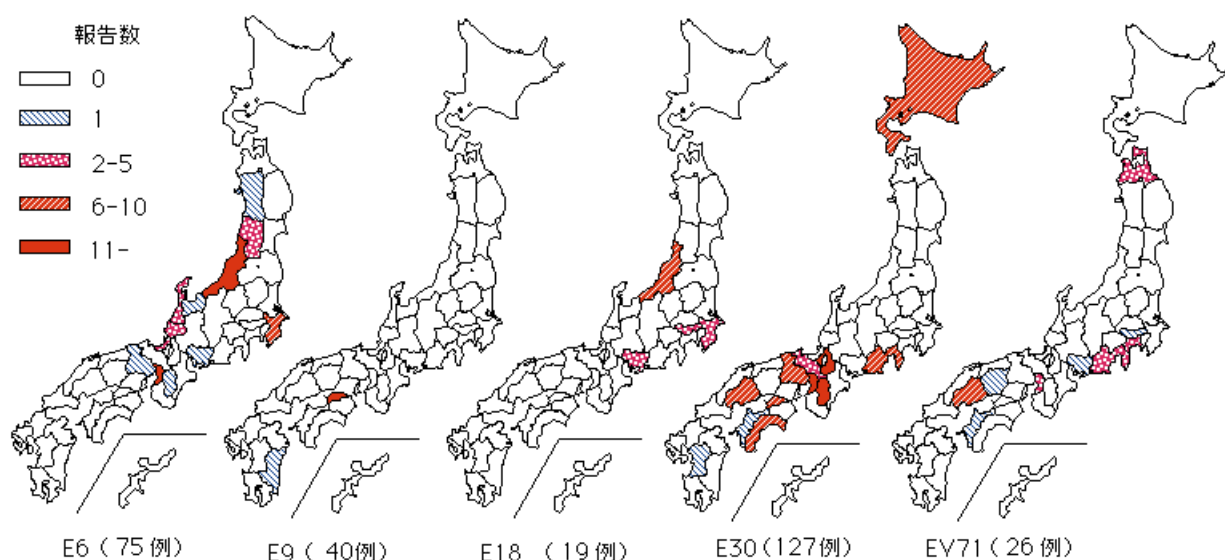
無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型(EV71)が26件(横須賀市6、広島県6、青森県2、浜松市2、大阪府2など)、エコーウイルス(E)が267件(30型127、6型75、9型40、18型19、7型4、13型1、16型1)報告されている。E30は近畿地方を中心に大阪府42(大阪府20、堺市16、大阪市6)、滋賀県16、奈良県15など12道府県から報告されている。E6は大阪府34(大阪府19、大阪市10、堺市5)と新潟県15(新潟県14、新潟市1)を中心に11府県から報告されている。E9は香川県39、宮崎県1、E18は新潟県6、愛知県5、千葉市4、東京都4から報告されている。その他、B群コクサッキーウイルスが41件(1型19、2型9、5型9、3型2、4型2)、ムンプスウイルスが15件、A群コクサッキーウイルスが7件(9型3、2型1、4型1、6型1)報告されている。

* カッコ内は、地研からの報告の内訳を示した。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告状況、2003年

(病原微生物検出情報 : 2003年8月29日現在報告数)



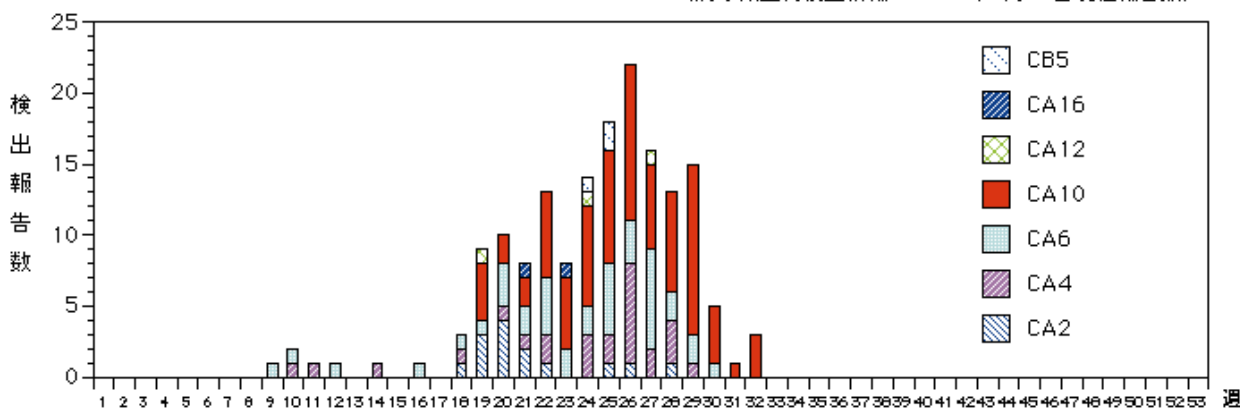
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2003年

A群コクサッキーウイルス(CA)が164件(10型78、6型39、4型26、2型14、12型3、16型2、9型1、14型1)報告されている。CA10は奈良県15、島根県14、山形県12など、CA6は愛知県10、京都市8、福岡県7など、CA4は秋田県13、滋賀県3、高知県3など、CA2は三重県10などから報告されており、地域によって分離されている型に差がみられている。この他にB群コクサッキーウイルスが9件(5型3、1型2、4型2、2型1、3型1)、エコーウイルスが11件(30型8、6型2、7型1)報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2003年

(病原微生物検出情報：2003年8月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス 2003年

アデノウイルス37型が49件(熊本県26、札幌市8、長野県5、大阪府3など)、19型20件(山形県7、熊本県6など)、3型19件(香川県12、熊本県3など)、2型6件(大阪府5、札幌市1)、8型4件(札幌市、川崎市、大阪府、熊本県各1)、7型3件(大阪市2、北九州市1)、4型2件(札幌市2)、11型1件(熊本県1)が報告されている。



< 通知 >

平成15年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について

医薬発第0617003号
平成15年6月17日

国立感染症研究所長 殿

厚生労働省医薬局長

生物学的製剤基準(平成5年10月厚生省告示第217号)の規定にかかる平成15年度のインフルエンザHAワクチン製造株について、下記のとおり決定したので通知する。

記

A型株

A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

A/パナマ/2007/99(H3N2)

B型株

B/山東/7/97

平成15年度(2003/04シーズン)インフルエンザワクチン株の選定経過

わが国におけるインフルエンザワクチン製造株の決定過程は、厚生労働省(厚労省)健康局の依頼に応じて国立感染症研究所(感染研)が検討し、これに基づいて厚労省が決定・通達している。感染研では、全国74カ所の地方衛生研究所と感染研、厚労省結核感染症課を結ぶ感染症発生動向調査事業により得られた流行状況、および1万株に及ぶ分離ウイルスについての抗原性や遺伝子解析の成績、感染症流行予測事業による住民の抗体保有状況調査の成績などに基づいて、前年度の11～12月に次年度シーズンの予備的流行予測を行い、これに対するいくつかのワクチン候補株を選択する。さらにこれらについて、発育鶏卵での増殖効率、抗原的安定性、免疫原性、エーテル処理効果などのワクチン製造株としての適格性を検討する。一方、年が明けた1月下旬から数回にわたり所内外のインフルエンザ専門家を中心とする検討委員会が開催され、上記の前シーズンの成績、およびその年のインフルエンザシーズンにおける最新の成績を検討して、次シーズンの流行予測を行う。さらに、WHOにより2月中旬に出される北半球次シーズンに対するワクチン推奨株とその選定過程、その他の外国における諸情報を総合的に検討して、3月下旬～4月上旬に次シーズンのワクチン株を選定する。感染研はこれを厚労省健康局長に報告し、これに基づいて厚労省医薬食品局長(旧 医薬局長)が決定して6～7月に公布している。

平成15年度(2003/04シーズン)に向けたインフルエンザワクチン株は、

A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

A/パナマ/2007/99(H3N2)

B/山東/7/97であり、以下にその選定経過を述べる。

1 . A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

わが国では、A/H1N1型(ソ連型)ウイルスは1999/2000、2000/01、2001/02の3シーズン連続して流行していたが、2002/03シーズンは1株が分離されたのみで(感染症週報2003年第16号) この亜型による流行はなかった。このことからA/H1N1ウイルスの流行株については、諸外国の情報に依存することとなった。

海外においては、A/H1N1型ウイルスはB型ウイルスとともに流行の主流であった。流行ウイルス株の抗原解析および遺伝子塩基配列の解析の結果、2002/03シーズンのワクチン株であるA/ニューカレドニア/20/99類似のウイルスが主流を占め、抗原変異株は非常に少なく、特別な抗原変異株の出現は報告されていない。一方、2001/02シーズンに出現した遺伝子再集合体A/H1N2ウイルスが2002/03シーズンも欧米諸国ではA/H1ウイルスの3 ~ 30%の割合で分離されている。しかし、このウイルスの赤血球凝集素(HA)抗原・遺伝子とノイラミニダーゼ(NA)抗原・遺伝子は、ワクチン株であるA/ニューカレドニア/20/99(H1N1)のH1およびA/パナマ/2007/99(H3N2)のN2にそれぞれ類似していることから、2003/04シーズンについても、これら両株を含む現行ワクチンで対応可能であると判断され、WHOでは北半球2003/04シーズンのワクチン株として、昨年に引き続きA/ニューカレドニア/20/99類似株を推奨している。

一方、A/ニューカレドニア/20/99株を含む2002/03シーズン用ワクチンの接種者における血清抗体応答は、ワクチン株のみならず、抗原的に赤血球凝集抑制(HI)試験で4倍程度変異したウイルス株に対しても高い交叉反応を示した。感染症流行予測事業による抗体保有状況調査においては、A/ニューカレドニア/20/99に対する抗体保有状況が10代では中程度の保有率であるが、それ以外の年齢層では依然として低いことから、この株に対する免疫増強の必要性が示唆された。また、A/ニューカレドニア/20/99は4シーズンにわたってワクチン株として用いられており、製造効率・有効性において実績がある。

以上から、2003/04シーズンのH1N1型ワクチン株として、昨年と同様にA/ニューカレドニア/20/99を選定した。

2 . A/パナマ/2007/99(H3N2)

わが国ではA/H3N2型(香港型)ウイルスは、4シーズン連続して流行を繰り返しており、2002/03シーズンはB型ウイルスとともに流行の主流であった。国内分離株の50 ~ 60%はワクチン株A/パナマ/2007/99様であったが、HI試験で、ワクチン株から4倍以上変異した株も徐々に増える傾向が見られた。これら変異株の特徴は、HA蛋白の155および156番目のアミノ酸に置換が見られ(155 + 156変異株) これらが抗原性の違いに反映されていると考えられた。

諸外国ではA/H3N2型の流行は中程度で、分離ウイルスの多くはわが国と同様に、代表株であるA/モスクワ/10/99や、わが国のワクチン株A/パナマ/2007/99類似株であったが、抗原変異株も30%を占めていた。このことから、次シーズンには抗原変異株の割合が増えることが予想されたため、ワクチン候補株としては、これら変異株の中から孵化鶏卵で分離した株について検討す

る必要があった。しかし、国内外における大半の流行株は培養細胞で分離されており、ワクチン製造株としては採用できない。そのために、WHOでは株選定を通常より1カ月遅らせ、全世界から155 + 156アミノ酸置換を含む変異株の孵化鶏卵分離株の入手に努めた。当時、A/仙台病院/4952/2002またはA/仙台病院/4962/2002株が世界で唯一の検討候補株であり、WHOを中心に世界各国でワクチン株としての開発を進めたところ、その後、継代歴が不明瞭であることがわかったため、開発を断念せざるを得なかった。一方、現時点ではA/モスクワ/10/99およびA/パナマ/2007/99類似株が依然として流行の主流であることや、この株を用いたワクチン接種によって獲得される抗体は、155 + 156変異株にも交叉反応することから、A/モスクワ/10/99またはA/パナマ/2007/99株に対する免疫を高めておけば、変異株にも対応できると考えられた。従って、WHOでは北半球2003/04シーズンのH3N2型ワクチン株として、昨年と同じくA/モスクワ/10/99様ウイルスを推奨した。

ワクチン製造株としては発育鶏卵での増殖効率が重要な条件となるが、A/モスクワ/10/99株自身は増殖性が低いのでワクチン製造には不適である。一方、この株と抗原的にほぼ同一であるA/パナマ/2007/99株はワクチン製造に適しているため、わが国および諸外国ではA/モスクワ/10/99様ウイルスとしてA/H3N2型ワクチン製造株に採用されている。

各年齢層における抗体保有状況調査の結果から、A/パナマ/2007/99株に対して5～19歳の若年層では比較的高い抗体保有率が見られるが、高齢者を含むそれ以外の年齢層での抗体保有率と抗体価が低いことが示された。従って、A/パナマ/2007/99に対する免疫を十分に誘導しておくことが必要であることが考えられた。さらに、A/パナマ/2007/99株は、これまで4シーズン用のワクチン株としての実績がある。

以上から、2003/04シーズンのH3N2型ワクチン株として、昨年と同様にA/パナマ/2007/99を選定した。

3 . B/山東/7/97

国内における2002/03シーズンにおいては、B型インフルエンザの流行は全体の流行の約30%であった。B型インフルエンザウイルスは、1980年代後半から抗原的にも遺伝子的にも区別される2つの系統に分流している。その一つはB/ビクトリア/2/87株を代表とするビクトリア系統で、2000/01シーズンまでは東アジア地区に限定されて流行していたが、2001/02シーズンからは世界的に広がり、B型ウイルスの主流となったものである。2002/03シーズンもビクトリア系統株がB型ウイルスの流行の97%を占め、分離株の大多数はこの系統の代表株B/香港/330/2001や、昨年度のワクチン株B/山東/7/97に抗原性が類似していた。一方、B/山形/16/88株に代表される山形系統は、2001/02、2002/03シーズンはほとんど分離されなかった。

海外においては、B型ウイルスは流行全体の30～40%であり、分離株のほとんどがビクトリア系統であった。さらに、これら分離株の大半はB/香港/330/2001やB/山東/7/97類似株であった。B型ウイルスの流行はここ2シーズンはビクトリア系統株であるが、多くの国においては、若年層を中心にこの系統のウイルスに対する抗体保有率が低いことが推定されるので、2003/04シーズンもこの系統のウイルスが大きな流行をもたらすことが予想された。そこで、WHOでは北半球2003/04シーズン用のB型ワクチン株に、B/香港/330/2001類似株を推奨した。

わが国での各年齢層別の抗体保有状況調査の結果からも、多くの人が山形系統のウイルスに対しては、抗体価は低いながらもある程度の免疫を保持している。しかし、ビクトリア系統のウイ

ルスについては、全年齢層のほとんどすべての人が低い抗体価しかもたないこと、国内外でこの系統のウイルス伝播が拡大している傾向から、2003/04シーズンもB/香港/330/2001類似株による流行が懸念された。従って、B型ワクチンとしてはビクトリア系統のウイルス株を選択することが妥当であると判断された。

しかし、B/香港/330/2001株自身は発育鶏卵での増殖性が低く、また卵に馴化させると抗原性が大きく変化してしまい、ワクチン製造には不適當であった。一方、わが国において1999/2000シーズン用のB型ワクチン株として採用された実績を持つB/山東/7/97株は、この株と抗原性がほぼ同一であり、発育鶏卵での増殖性も比較的良好であり、抗原的にも安定であることが示された。そこで、2003/04シーズンのB型ワクチン株として、B/山東/7/97株を選定した。

国立感染症研究所・ウイルス第三部
WHOインフルエンザ協力センター
小田切孝人 田代真人

(IASR2003年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ

CDC 9月4日、ヘルスカナダ 9月3日

州	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	20	2
アリゾナ	1	
アーカンソー	5	
コロラド	940	11
コネチカット	1	
フロリダ	22	1
ジョージア	5	
イリノイ	2	
インディアナ	6	
アイオワ	15	2
カンザス	17	1
ケンタッキー	4	
ルイジアナ	42	
メリーランド	6	
マサチューセッツ	1	
ミネソタ	17	
ミシシッピ	30	1
ミズーリ	6	1
モンタナ	32	
ネブラスカ	326	8
ニュージャージー	3	
ニューメキシコ	65	4
ニューヨーク	6	1
ノースカロライナ	5	
ノースダコタ	28	
オハイオ	14	1
オクラホマ	19	
ペンシルバニア	38	
サウスカロライナ	1	
サウスダコタ	250	3
テネシー	5	
テキサス	164	3
バージニア	4	
ウィスコンシン	3	
ワイオミング	164	4
合計	2,267	43

2,214例の解析にて、57%はウエストナイル熱、33%はウエストナイル髄膜炎/脳炎、11%は不明。

(米国CDCホームページ <http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/index.htm> より)

州	陽性疑い患者数*	陽性確定患者数	死亡者数
ノバスコシア	1	0	0
オンタリオ	10	1	0
マニトバ	5	1	0
サスカチュワン	59	10	0
アルバータ	37	7	0
合計	112	19	0

* 陽性の確定にはさらに検査を必要とする。

(ヘルスカナダホームページ <http://www.hc-sc.gc.ca/pphb-dgspsp/wnv-vwn/> より)

リベリアでのコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2003年8月25日

8月19日現在、WHOは、2003年初めからのコレラ患者3,889名を報告した。6月初旬からは、コレラ患者2,464名が登録されている。現在、軽症患者のデータは手に入らないので、それらの症例数は含まれておらず、6、7、8月のコレラ患者数については過小算定となる。現在、死亡者数のデータは入手不能である。

この疫学情報は、流行に際してモンロビアで活動しているベルギーおよびフランスの国境無き医師団とMERLINによって提供されたデータに基づいている。

以前の報告のように、人々の移動、モンロビア中心部での人口過剰の生活環境、安全な水の供給ができないことにより、間もなく患者数の増加が起こることが予想される。

アフガニスタンでのジフテリア流行

WHO/CSR 2003年8月29日

2003年8月9日現在、WHOは、カンダハルの経済難民の再定住施設において、2003年6月12日から8月2日までに、ジフテリアによる死亡者3名を含む患者50名(致死率6%)を報告した。初期の疫学データでは、患者の74%が5～14歳であったことを示している。カブールにある中央検査室で検査した検体から、ジフテリア菌が検出された。さらに詳しい検査がパキスタンのイスラマバードで行われている。

再定住施設の全住民 4万人 を対象とした集団予防接種活動が、2003年8月2日に開始された。2003年8月7日現在、7,544名がワクチン接種を受けた。

WHO、UNHCR、UNICEF、オランダの国境無き医師団、国際赤十字委員会、国際赤十字連盟、赤新月社およびInter-SOSは、技術的支援や後方支援と同様に、制圧対策の遂行、薬剤や抗毒素の支給、ワクチン供給などの面で保健省を支援している。現在、サーベイランス、患者および接触者追跡の活動を強化している。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



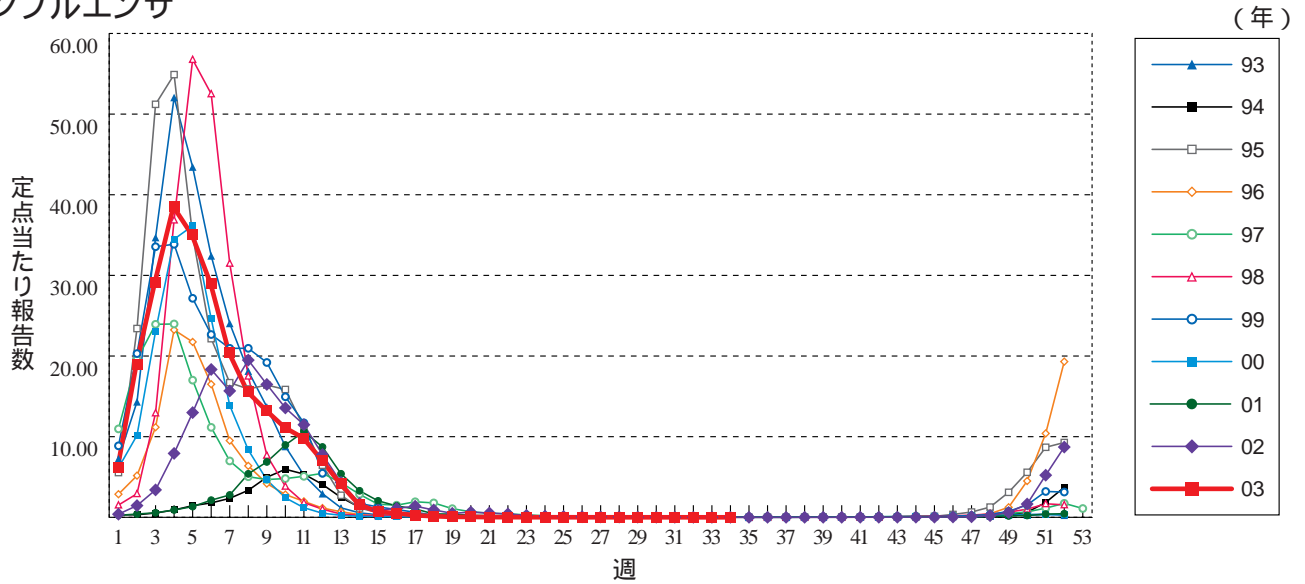
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

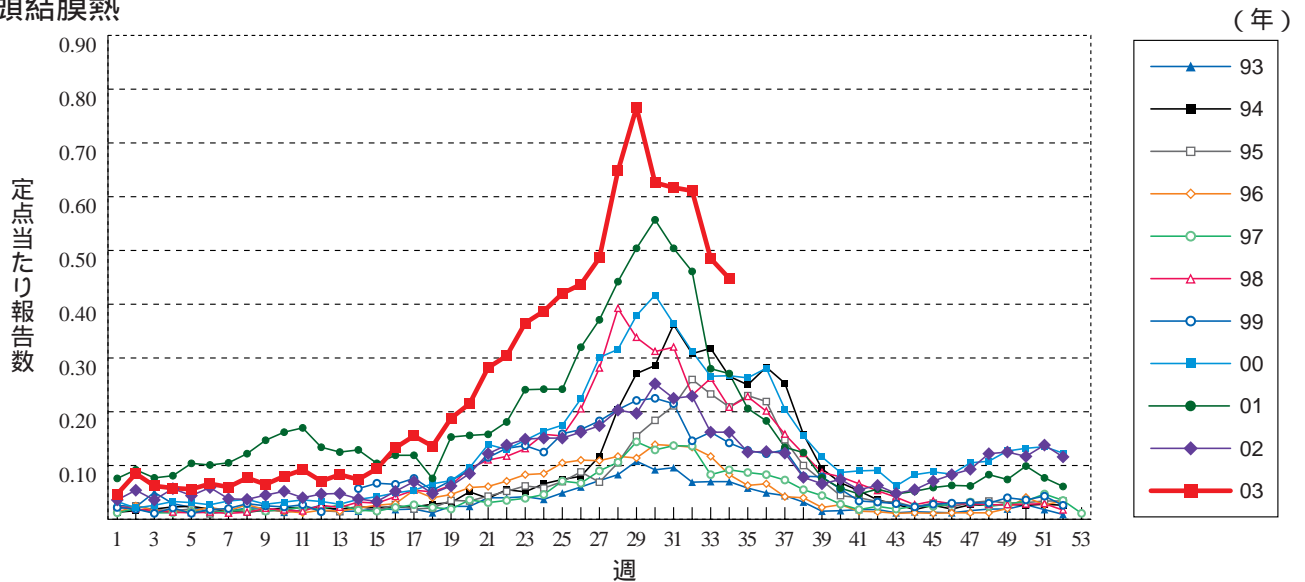
idsq-query@nih.go.jp

グラフ総覧(3 4 週)

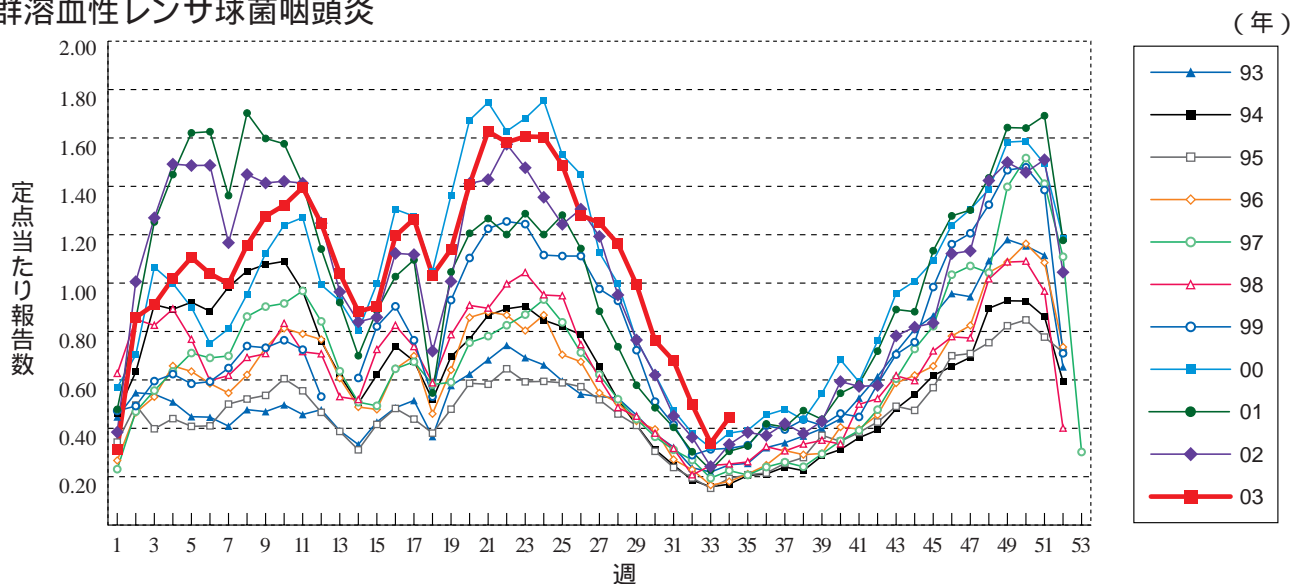
インフルエンザ



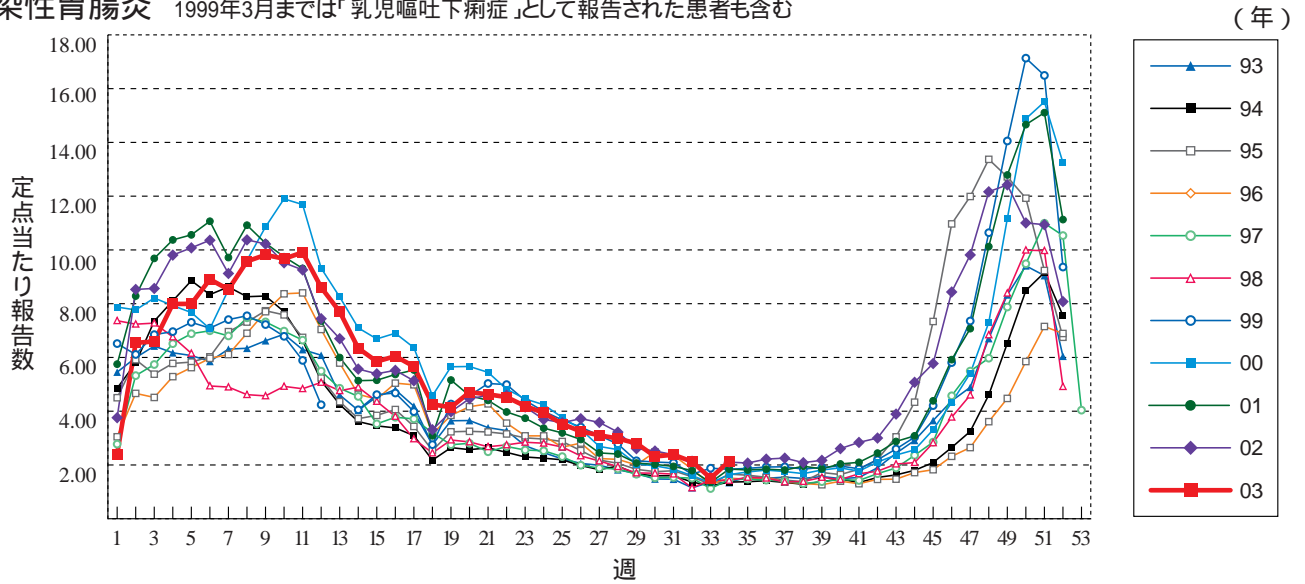
咽頭結膜熱



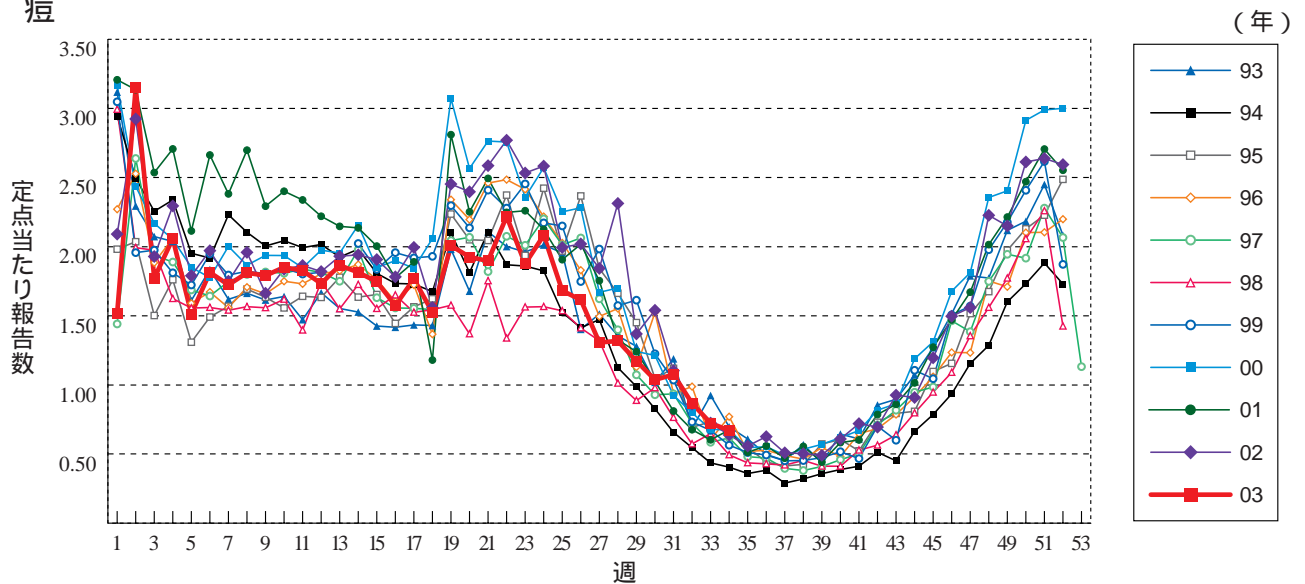
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



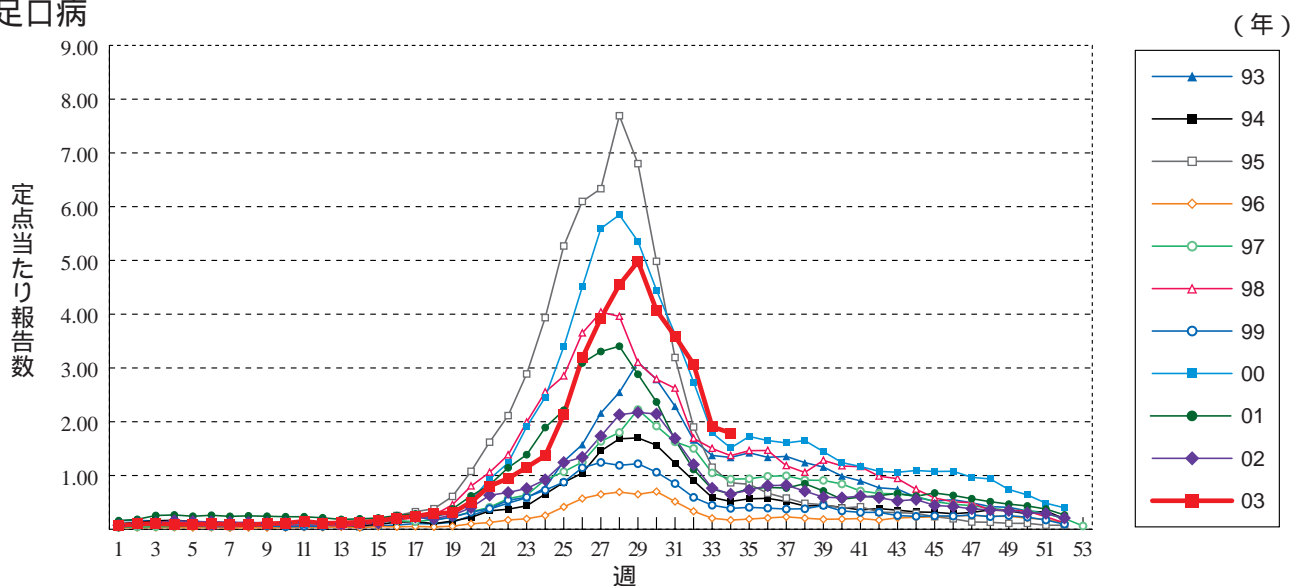
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



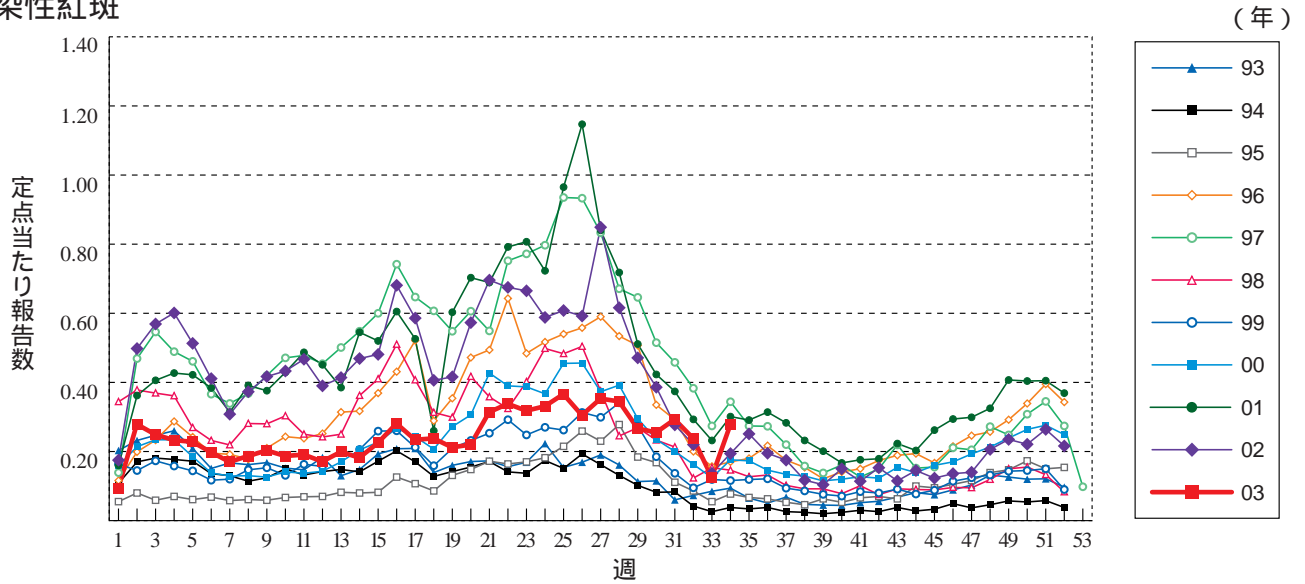
水痘



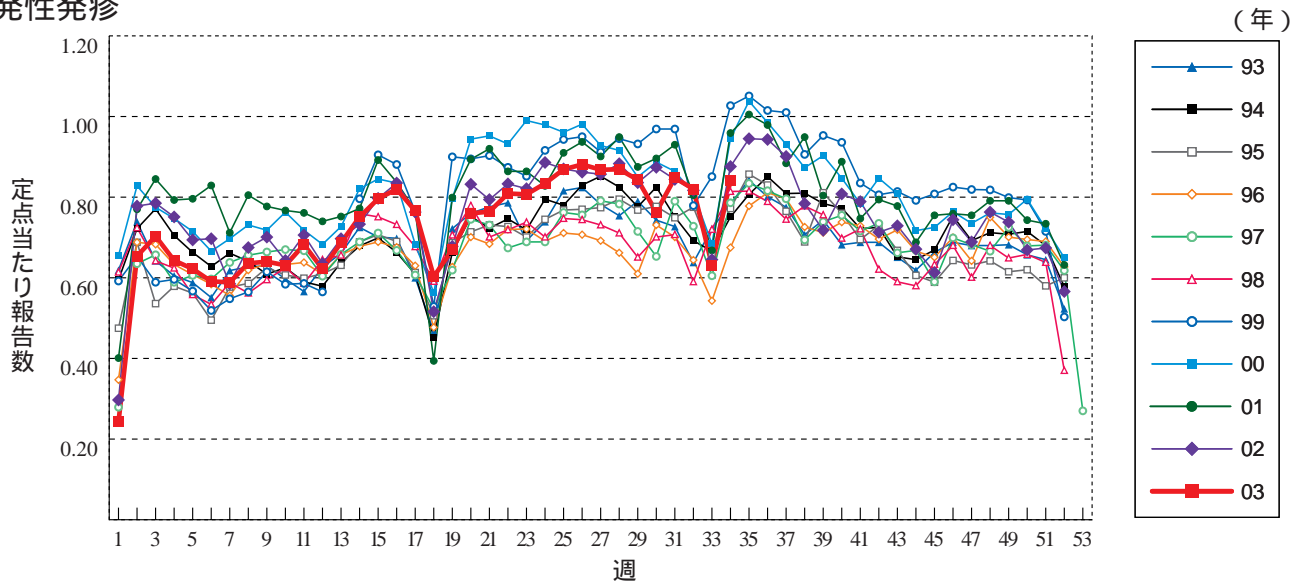
手足口病



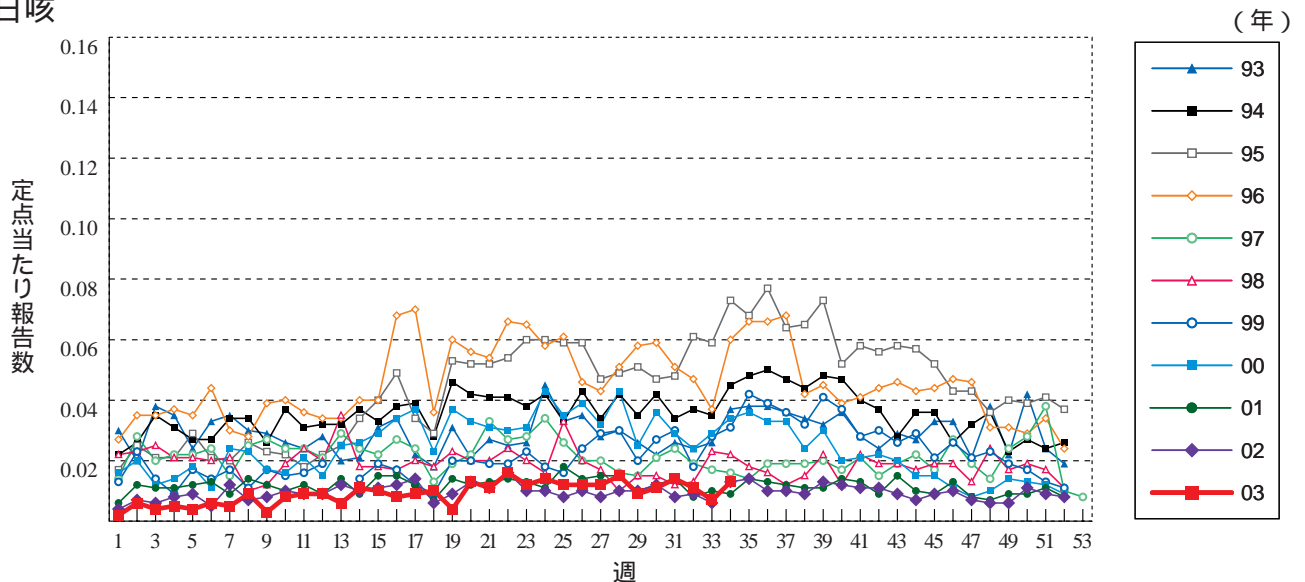
伝染性紅斑



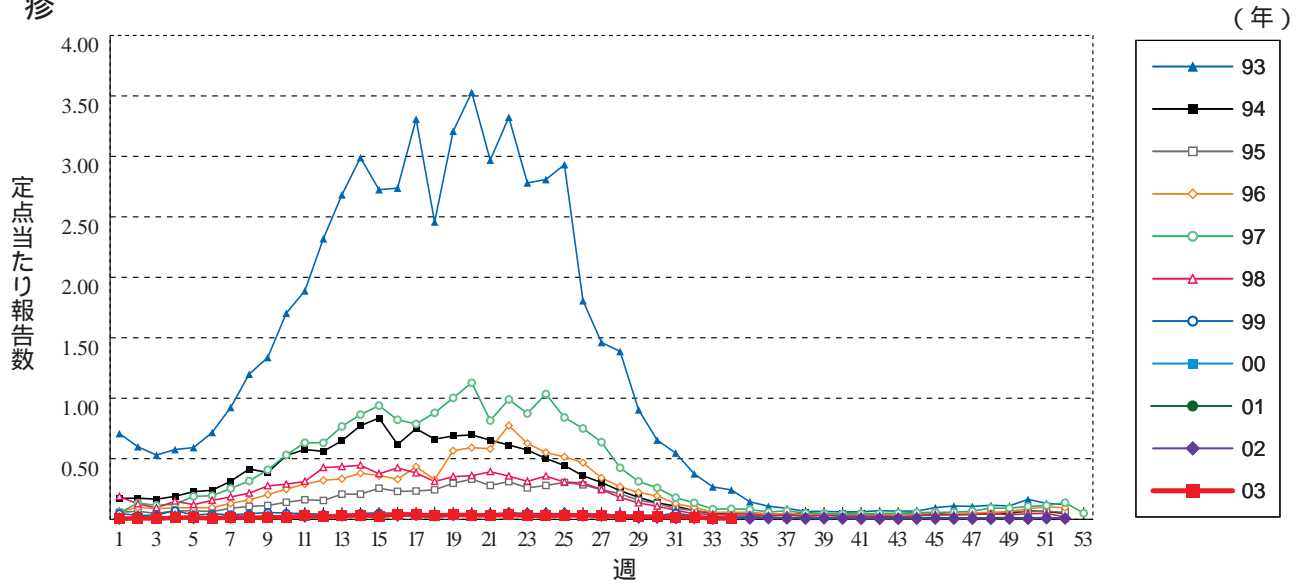
突発性発疹



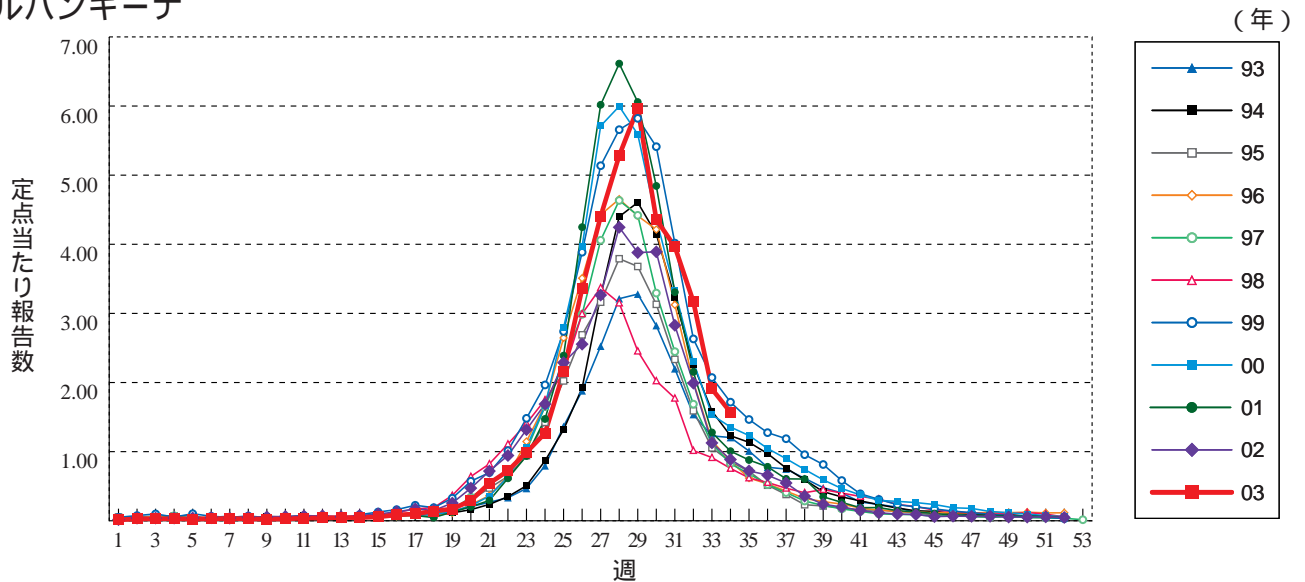
百日咳



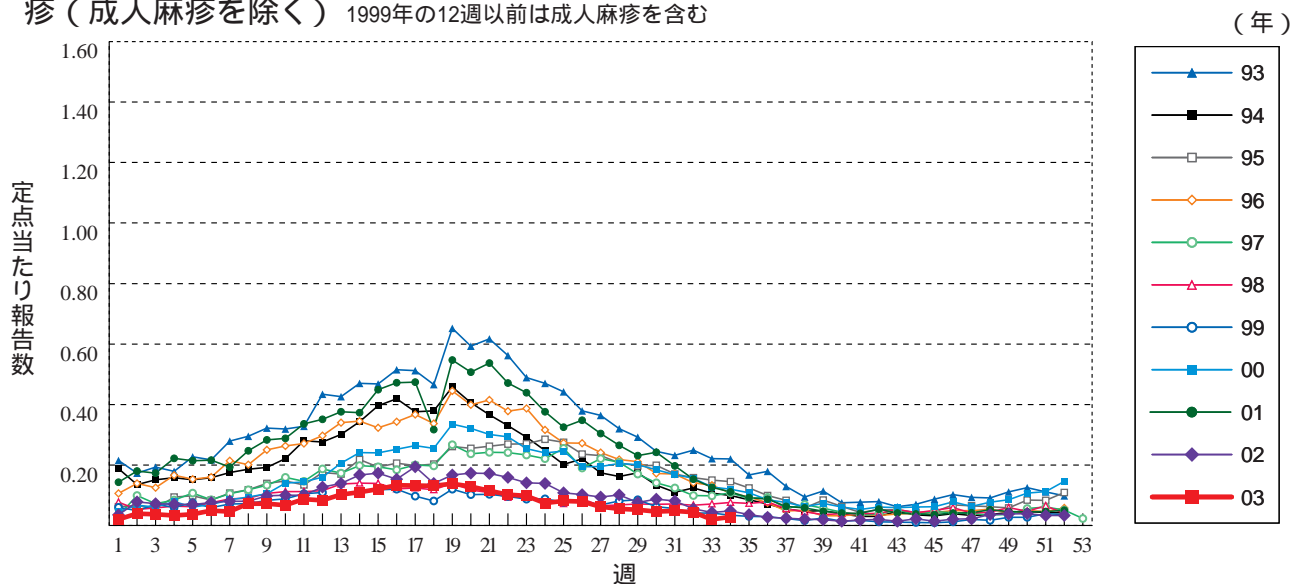
風 疹



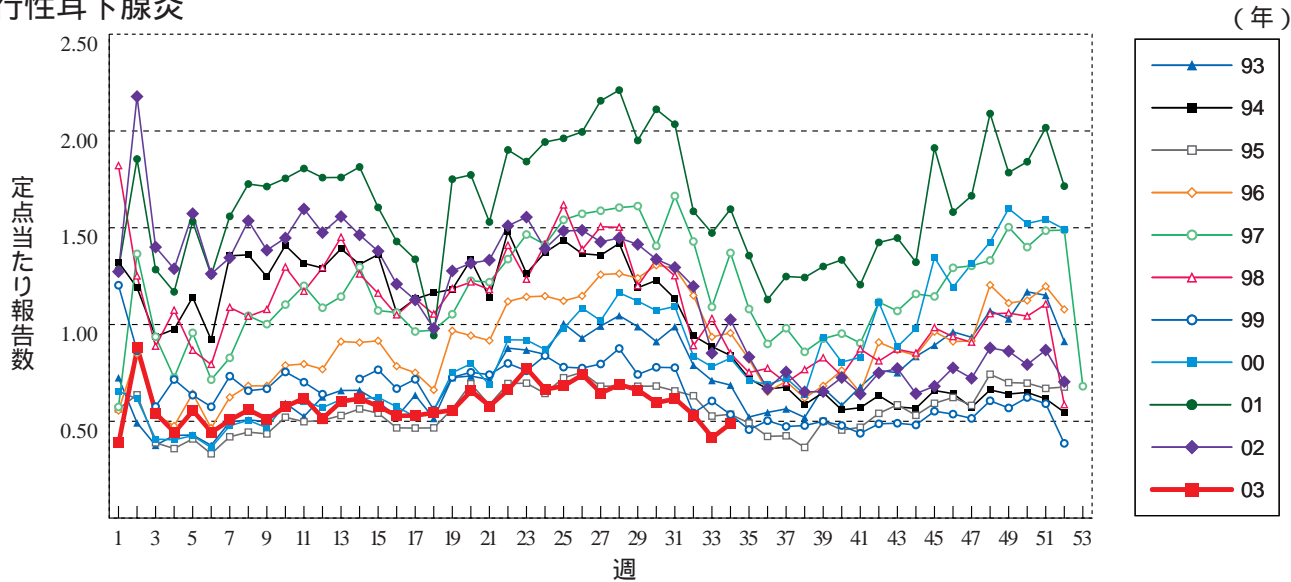
ヘルパンギーナ



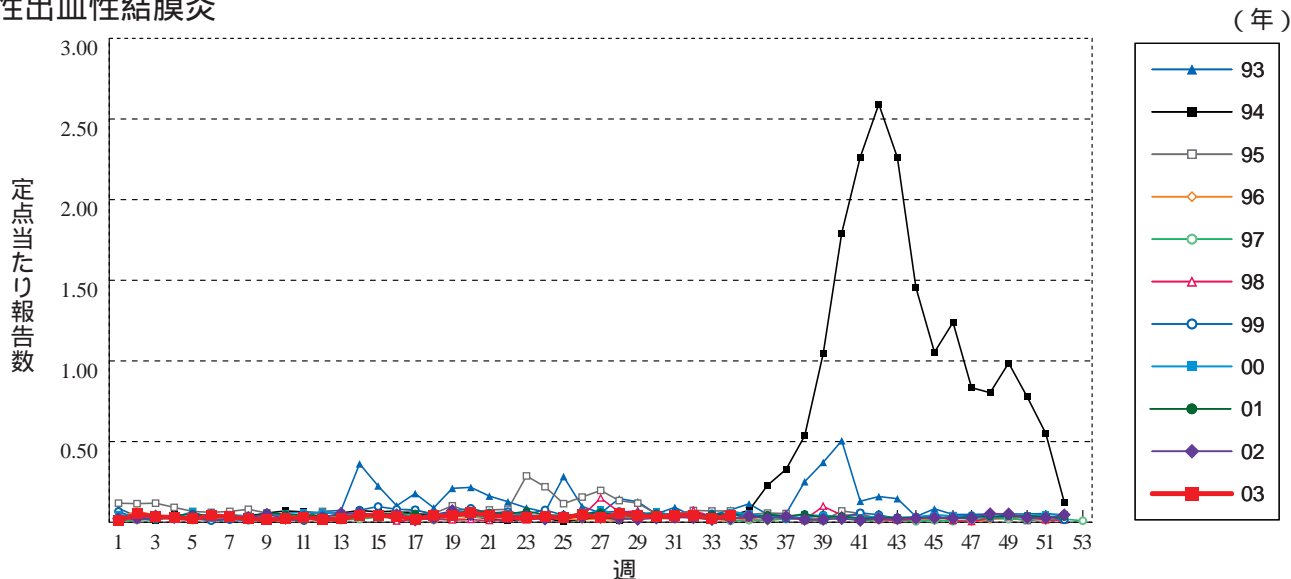
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



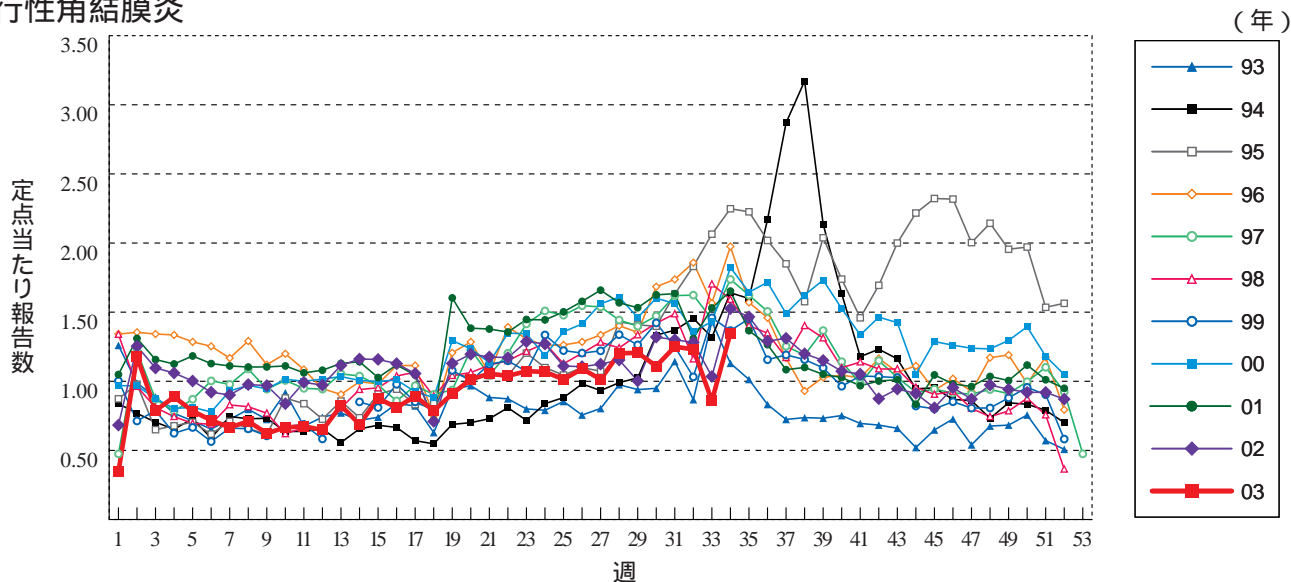
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

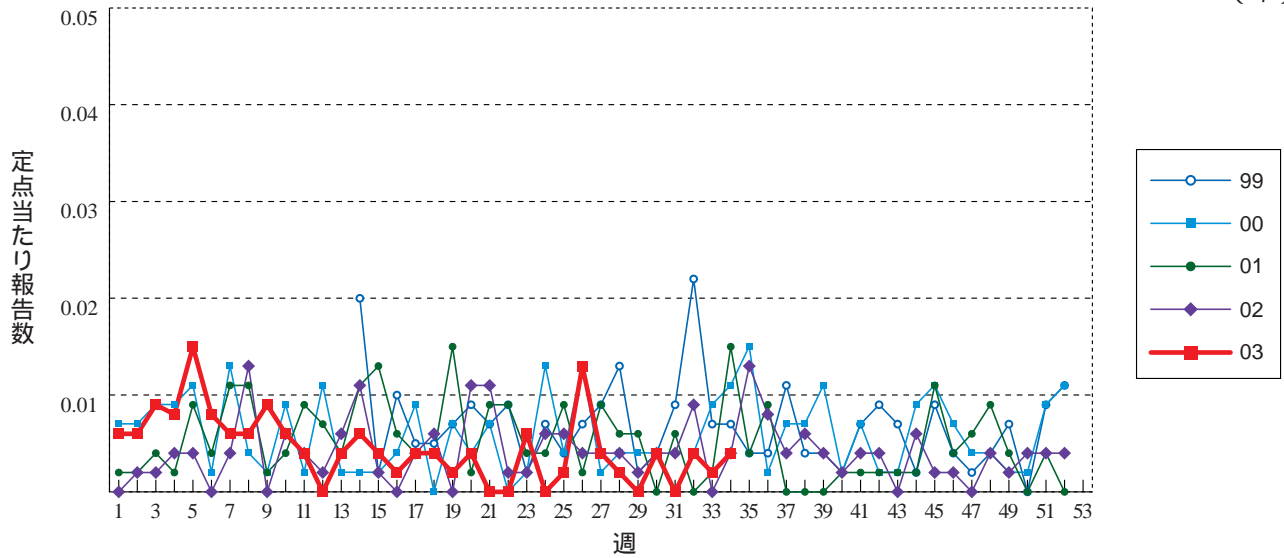


流行性角結膜炎



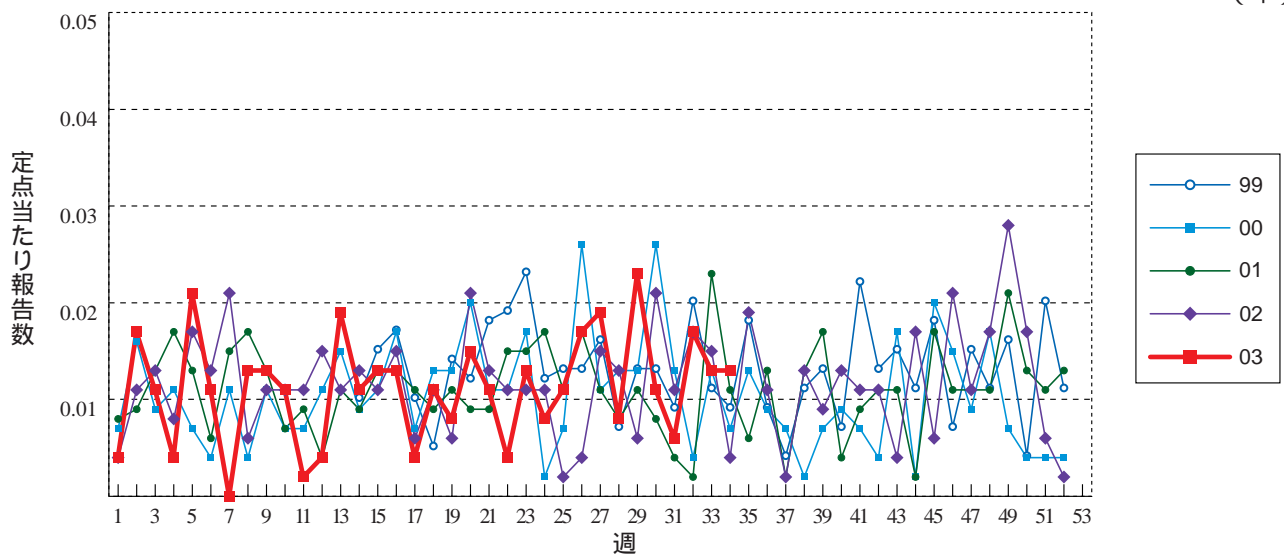
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



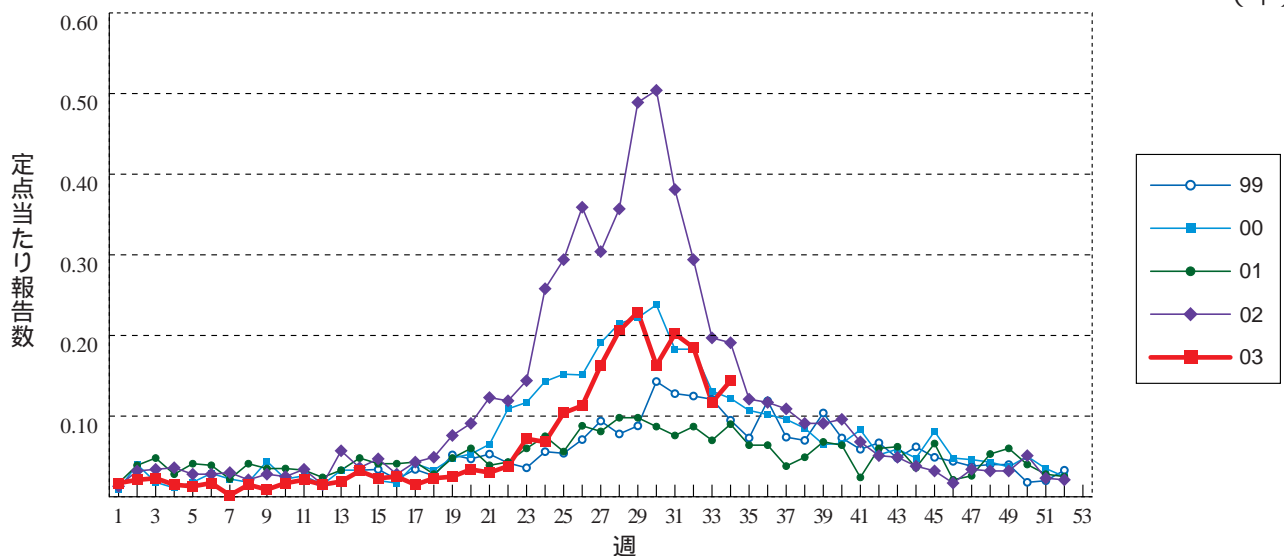
細菌性髄膜炎

(年)



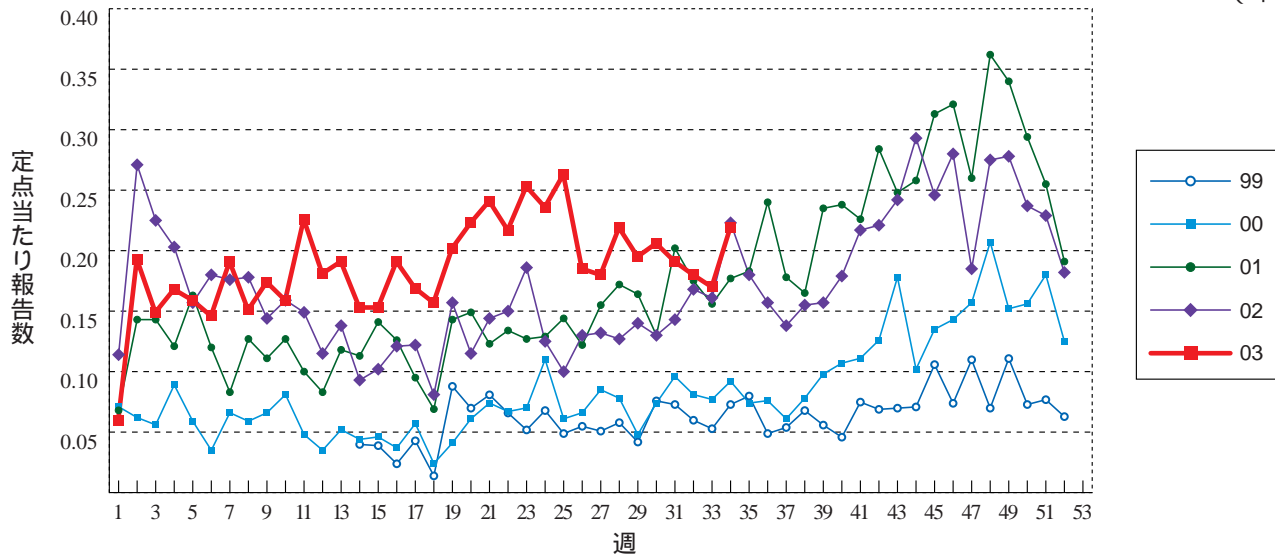
無菌性髄膜炎

(年)



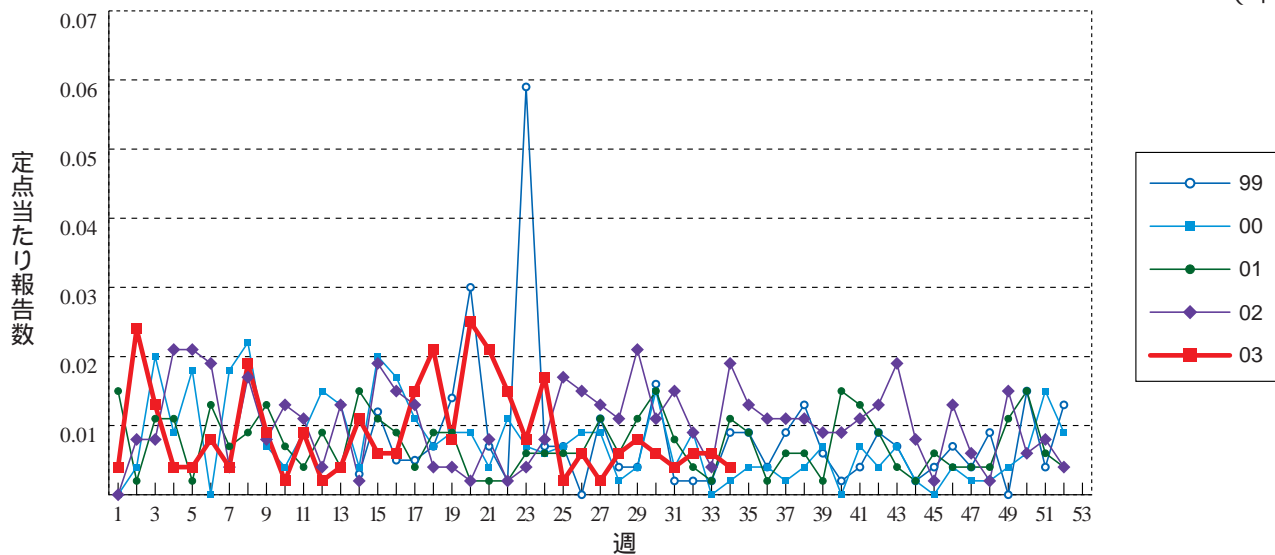
マイコプラズマ肺炎

(年)



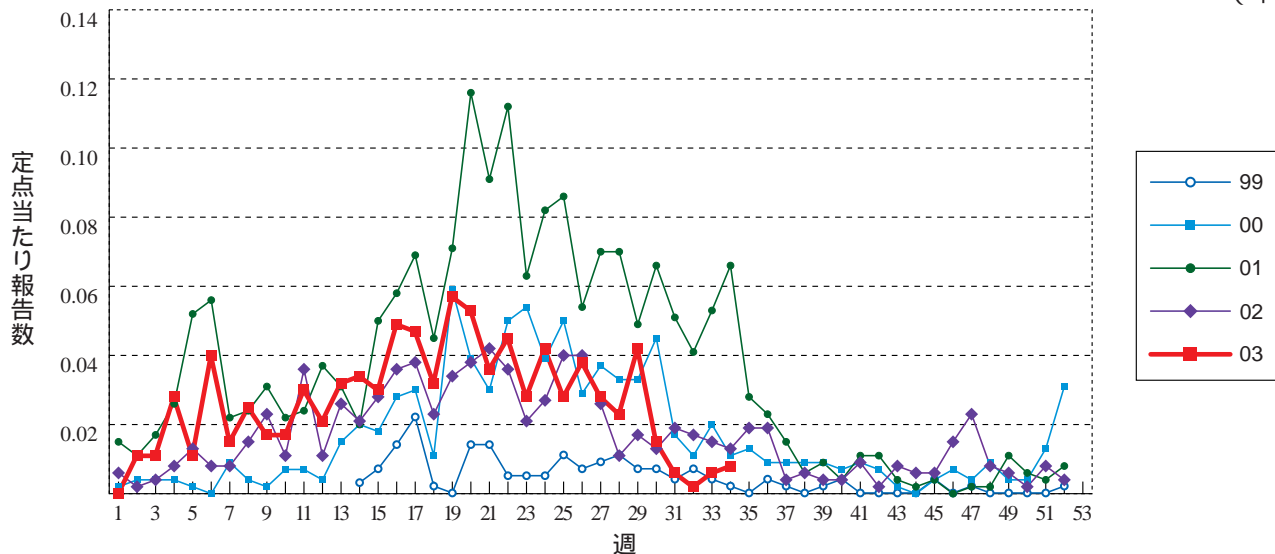
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





34週 of データ

注) 表中の報告数は8月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年34週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		バスタ		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	17	292	-	36	-	22
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	1	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	65	-	15	-	4	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	21	-	-	-	4	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	14	-	2	-	1	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	2	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	17	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年34週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	149	1483	2	322	-	13	-	-	1	34	-	-	-	501
北海道	-	-	-	-	2	26	-	5	-	12	-	-	-	1	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	5	36	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
宮城県	-	-	-	-	3	25	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	1	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	3	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	4	12	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	1	15	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	22	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	3	42	1	16	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
千葉県	-	-	-	-	3	63	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	6	113	-	76	-	-	-	-	1	1	-	-	-	52
神奈川県	-	-	-	-	4	39	-	31	-	-	-	-	-	4	-	-	-	26
新潟県	-	-	-	-	3	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	6	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
福井県	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	9	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	1	26	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	57	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	22	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	1	44	-	31	-	1	-	-	-	2	-	-	-	19
三重県	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	1	34	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	7	86	-	48	-	-	-	-	-	8	-	-	-	50
兵庫県	-	-	-	-	7	101	1	5	-	-	-	-	-	4	-	-	-	26
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
和歌山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	2	71	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	2	19	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	3	25	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
徳島県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	1	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	2	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	28	138	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
佐賀県	-	-	-	-	1	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	32	71	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	4	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	5	26	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
鹿児島県	-	-	-	-	5	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年34週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	5	-	74	-	40	8	559	-	1	1	66	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	6	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	12	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	25	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	4	-	11	-	4	5	216	-	-	-	24	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	47	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	33	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	10	-	-	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	52	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	13	-	-	1	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年34週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	15	-	1	-	-	-	134	-	21	1	22	-	-	-	-	1	309
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	48
神奈川県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	49
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	1	7
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	1	5	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年34週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	43	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	3	52	-	4	-	87
北海道	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
千葉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	23	-	-	-	10
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	4
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	1	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年34週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年34週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	8	0.00	1362	0.45	1349	0.44	6481	2.13	2036	0.67	5437	1.79	842	0.28	2557	0.84	39	0.01
北海道	1	0.00	28	0.19	84	0.58	144	0.99	136	0.94	289	1.99	126	0.87	120	0.83	1	0.01
青森県	-	-	6	0.14	12	0.29	46	1.10	39	0.93	196	4.67	-	-	24	0.57	-	-
岩手県	-	-	12	0.32	20	0.53	44	1.16	54	1.42	118	3.11	5	0.13	18	0.47	1	0.03
宮城県	-	-	12	0.20	30	0.51	143	2.42	65	1.10	93	1.58	49	0.83	55	0.93	1	0.02
秋田県	-	-	18	0.51	15	0.43	79	2.26	19	0.54	113	3.23	1	0.03	31	0.89	-	-
山形県	-	-	10	0.33	27	0.90	71	2.37	21	0.70	60	2.00	7	0.23	34	1.13	-	-
福島県	-	-	3	0.06	11	0.23	102	2.13	24	0.50	117	2.44	3	0.06	54	1.13	-	-
茨城県	1	0.01	14	0.19	26	0.35	138	1.86	44	0.59	106	1.43	5	0.07	44	0.59	4	0.05
栃木県	-	-	13	0.28	16	0.35	88	1.91	13	0.28	136	2.96	3	0.07	34	0.74	1	0.02
群馬県	-	-	15	0.24	37	0.60	83	1.34	72	1.16	117	1.89	18	0.29	40	0.65	-	-
埼玉県	1	0.00	33	0.22	77	0.51	318	2.09	93	0.61	294	1.93	63	0.41	140	0.92	1	0.01
千葉県	-	-	52	0.40	53	0.41	201	1.56	84	0.65	226	1.75	50	0.39	121	0.94	1	0.01
東京都	-	-	29	0.20	37	0.26	182	1.28	81	0.57	187	1.32	24	0.17	66	0.46	1	0.01
神奈川県	2	0.01	51	0.25	72	0.35	291	1.42	95	0.46	281	1.37	73	0.36	159	0.78	1	0.00
新潟県	-	-	25	0.42	37	0.62	119	1.98	85	1.42	307	5.12	34	0.57	52	0.87	-	-
富山県	-	-	16	0.55	45	1.55	102	3.52	17	0.59	53	1.83	18	0.62	28	0.97	-	-
石川県	-	-	7	0.24	15	0.52	95	3.28	21	0.72	29	1.00	7	0.24	22	0.76	-	-
福井県	-	-	12	0.55	19	0.86	107	4.86	26	1.18	49	2.23	7	0.32	25	1.14	-	-
山梨県	1	0.02	-	-	2	0.08	33	1.32	11	0.44	62	2.48	5	0.20	8	0.32	-	-
長野県	-	-	80	1.45	34	0.62	135	2.45	49	0.89	189	3.44	18	0.33	47	0.85	1	0.02
岐阜県	-	-	52	0.98	9	0.17	55	1.04	21	0.40	74	1.40	12	0.23	44	0.83	2	0.04
静岡県	-	-	68	0.79	32	0.37	203	2.36	56	0.65	146	1.70	35	0.41	86	1.00	-	-
愛知県	-	-	60	0.33	87	0.48	324	1.78	149	0.82	241	1.32	88	0.48	160	0.88	1	0.01
三重県	-	-	34	0.76	19	0.42	182	4.04	31	0.69	28	0.62	21	0.47	33	0.73	-	-
滋賀県	-	-	42	1.31	10	0.31	38	1.19	18	0.56	14	0.44	3	0.09	31	0.97	-	-
京都府	-	-	17	0.22	15	0.20	186	2.45	25	0.33	67	0.88	4	0.05	45	0.59	-	-
大阪府	-	-	82	0.42	77	0.39	429	2.20	96	0.49	140	0.72	21	0.11	129	0.66	5	0.03
兵庫県	-	-	102	0.80	33	0.26	368	2.88	85	0.66	201	1.57	38	0.30	88	0.69	8	0.06
奈良県	-	-	34	0.97	25	0.71	52	1.49	15	0.43	28	0.80	10	0.29	18	0.51	1	0.03
和歌山県	-	-	8	0.26	6	0.19	53	1.71	7	0.23	26	0.84	1	0.03	26	0.84	1	0.03
鳥取県	-	-	13	0.68	23	1.21	87	4.58	27	1.42	82	4.32	3	0.16	26	1.37	-	-
島根県	-	-	2	0.09	5	0.22	40	1.74	17	0.74	39	1.70	-	-	20	0.87	-	-
岡山県	-	-	16	0.30	13	0.24	128	2.37	28	0.52	122	2.26	1	0.02	44	0.81	1	0.02
広島県	-	-	50	0.67	32	0.43	186	2.48	44	0.59	125	1.67	31	0.41	69	0.92	1	0.01
山口県	-	-	26	0.53	43	0.88	139	2.84	46	0.94	228	4.65	4	0.08	61	1.24	1	0.02
徳島県	-	-	23	1.00	5	0.22	64	2.78	7	0.30	16	0.70	8	0.35	11	0.48	-	-
香川県	-	-	16	0.50	7	0.22	68	2.13	19	0.59	30	0.94	2	0.06	24	0.75	-	-
愛媛県	-	-	25	0.64	23	0.59	122	3.13	30	0.77	170	4.36	7	0.18	36	0.92	1	0.03
高知県	-	-	28	0.90	13	0.42	55	1.77	9	0.29	63	2.03	3	0.10	21	0.68	-	-
福岡県	1	0.01	57	0.48	68	0.57	409	3.41	94	0.78	196	1.63	9	0.08	162	1.35	2	0.02
佐賀県	-	-	23	1.00	17	0.74	33	1.43	15	0.65	28	1.22	3	0.13	43	1.87	-	-
長崎県	-	-	11	0.25	17	0.39	72	1.64	17	0.39	66	1.50	-	-	23	0.52	-	-
熊本県	-	-	20	0.41	24	0.49	115	2.35	22	0.45	69	1.41	1	0.02	62	1.27	-	-
大分県	-	-	62	1.72	28	0.78	141	3.92	23	0.64	99	2.75	2	0.06	33	0.92	1	0.03
宮崎県	-	-	18	0.49	35	0.95	184	4.97	33	0.89	25	0.68	9	0.24	63	1.70	-	-
鹿児島県	1	0.01	33	0.56	13	0.22	207	3.51	30	0.51	71	1.20	3	0.05	53	0.90	-	-
沖縄県	-	-	4	0.12	1	0.03	20	0.59	23	0.68	21	0.62	7	0.21	24	0.71	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年34週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	25	0.01	4765	1.57	84	0.03	1486	0.49	27	0.04	854	1.35	2	0.00	6	0.01	68	0.14
北海道	-	-	345	2.38	3	0.02	77	0.53	1	0.03	39	1.34	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	120	2.86	-	-	15	0.36	-	-	12	1.09	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	36	0.95	3	0.08	20	0.53	-	-	7	0.58	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	-	-	159	2.69	3	0.05	54	0.92	1	0.09	7	0.64	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	106	3.03	2	0.06	5	0.14	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.14
山形県	-	-	59	1.97	-	-	3	0.10	-	-	23	2.88	-	-	-	-	1	0.10
福島県	-	-	129	2.69	7	0.15	23	0.48	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	50	0.68	3	0.04	11	0.15	-	-	27	1.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	83	1.80	1	0.02	10	0.22	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	70	1.13	1	0.02	78	1.26	-	-	18	1.29	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	238	1.57	5	0.03	88	0.58	-	-	38	1.06	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.02	182	1.41	8	0.06	36	0.28	2	0.06	32	0.97	-	-	-	-	2	0.15
東京都	2	0.01	127	0.89	6	0.04	15	0.11	-	-	22	1.57	-	-	-	-	9	0.36
神奈川県	4	0.02	224	1.09	3	0.01	82	0.40	-	-	60	1.46	-	-	-	-	2	0.17
新潟県	-	-	222	3.70	-	-	46	0.77	3	0.33	2	0.22	-	-	-	-	2	0.17
富山県	-	-	86	2.97	-	-	2	0.07	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	54	1.86	-	-	3	0.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	54	2.45	1	0.05	4	0.18	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	4	0.67
山梨県	-	-	33	1.32	-	-	2	0.08	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	193	3.51	1	0.02	6	0.11	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.02	67	1.26	2	0.04	9	0.17	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	102	1.19	-	-	52	0.60	-	-	24	1.20	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	-	-	169	0.93	2	0.01	162	0.89	-	-	59	1.69	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	56	1.24	1	0.02	25	0.56	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	49	1.53	1	0.03	15	0.47	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.29
京都府	1	0.01	41	0.54	1	0.01	30	0.39	-	-	18	1.00	-	-	-	-	2	0.40
大阪府	-	-	135	0.69	4	0.02	72	0.37	1	0.02	40	0.82	-	-	-	-	11	0.73
兵庫県	1	0.01	163	1.27	-	-	163	1.27	1	0.03	53	1.51	1	0.08	-	-	2	0.17
奈良県	-	-	21	0.60	2	0.06	25	0.71	1	0.11	6	0.67	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	2	0.06	41	1.32	6	0.19	16	0.52	-	-	5	1.25	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	31	1.63	-	-	17	0.89	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	6	1.20
島根県	-	-	23	1.00	-	-	3	0.13	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	108	2.00	1	0.02	22	0.41	-	-	45	3.75	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.03	103	1.37	2	0.03	21	0.28	7	0.35	28	1.40	-	-	-	-	4	0.19
山口県	1	0.02	70	1.43	-	-	45	0.92	-	-	17	1.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	50	2.17	-	-	9	0.39	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	74	2.31	-	-	11	0.34	2	0.67	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	176	4.51	-	-	3	0.08	1	0.14	49	7.00	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	34	1.10	-	-	42	1.35	-	-	10	3.33	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	-	-	232	1.93	1	0.01	50	0.42	3	0.12	40	1.54	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	50	2.17	-	-	15	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	45	1.02	9	0.20	15	0.34	3	0.38	20	2.50	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	-	-	51	1.04	-	-	10	0.20	-	-	24	2.67	-	-	2	0.13	4	0.27
大分県	-	-	110	3.06	-	-	12	0.33	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	135	3.65	4	0.11	25	0.68	1	0.25	16	4.00	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	-	-	45	0.76	1	0.02	33	0.56	-	-	21	3.50	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	1	0.03	14	0.41	-	-	4	0.12	-	-	10	1.00	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年34週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	103	0.22	2	0.00	4	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	8	0.40	-	-	-	-
宮城県	1	0.08	-	-	-	-
秋田県	3	0.43	-	-	-	-
山形県	11	1.10	-	-	1	0.10
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	5	0.50	-	-	-	-
栃木県	2	0.29	2	0.29	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	3	0.12	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.17	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	2	0.40	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	4	0.40	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	1	0.20	-	-	-	-
大阪府	5	0.33	-	-	-	-
兵庫県	3	0.25	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	9	0.82	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	8	0.38	-	-	-	-
山口県	7	0.78	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	3	0.20	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第34号 平成15年9月5日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。